中野キャンパス　〒298-0271 千葉県夷隅郡大多喜町中野 589　TEL:0470-830830　FAX:0470-64-6350

三育学院中学校

２０２１年１１月号

Building Character

『 修養会 』

11/2　3 年修養会 裏磐梯 諸橋近代美術館見学

3 年生の修養会プログラムの後半に合流させていただきました。昨年度に引き続き、海外研修はコロナ禍で実施できませんでしたので、福島のブリティッシュ・ヒルズという施設ので 2 泊 3 日の英語漬けの研修と猪苗代湖周辺での色々な学びを行ってきました。

今回は、後半のプログラムに同行いたしましたので、裏磐梯のレイクリゾートホテルでのハンドベルのコンサートの開催、会津藩校日新館と鶴ヶ城での日本の歴史とキリシタン大名であった蒲生氏郷についての学び、野口英世記念館でのその足跡についての学び、諸橋近代美術館でのサルバドール・ダリなどの多くの本物の作品の鑑賞、桧原湖でのボート遊覧、五色沼自然探索等々。めったに訪れることのできない場所での貴重な体験を積み重ねてくることができました。

三育では、伝統的に修学旅行ではなく修養会という言葉を用いています。英語で言えば、キリスト教会などで行われるリトリート（Retreat）プログラムに当たるものです。今回のテーマは「ディスカバリー」ということで生徒たち一人ひとりが新たな気づきや発見をすることをめざして準備をしてきました。最後の夜にそれぞれがどのような発見や気づきがあったのかをみんなの前で発表する機会がありました。その中で印象的であったのは、「自分たちは人数が少なかったので、同じ寮で生活していても同室になることは、ほぼなかったので今回、今まで深く話す機会のなかった同級生と話すことができて、仲間だという意識が強くなりました。」という発言が複数からあったことでした。彼らの発表を聞きながら、互いの違いを認めながら自分一人でなく協働して何かを成し遂げることの大切さをもう一度認識するいい機会となったに違いないという思いを強く致しました。

私自身、蒲生氏郷の生涯、野口英世の生涯、白虎隊の生涯、サルバドール・ダリの生涯、それぞれにあらためて触れたときに、私たち一人ひとりが置かれている境遇とタラントとをお前はどうするつもりなのかという大きな課題を神様から突き付けられたような気がいたしました。

諸橋近代美術館の駐車場にバスを留めて、歩いて坂を下って美術館に向かう姿を私は少し離れてみていました。誰も後ろを振り返ることなくまっすぐに降りていきました。上の写真は、その時に撮影したものです。ふと、本当に大きくなったなと感じました。遠くの山の頂と私のいる場所との間を彼らは下っていきました。間もなく、彼らは、それぞれの峰をめざしてこの場所から離れていくことになるのです。「神様、この子たちを生涯お守りくださいますように」彼らの後姿を見ながら、短い祈りをささげました。

何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。
（箴言４章２３節）

久我原キャンパス　〒298-0297 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500　TEL:0470-84-0111　FAX:0470-84-0076